



Light Up Rotary

第2780地区
大磯ロータリークラブ



2014～2015年度RI会長
ゲイリー-C. K. ホアン

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 守屋 紀忠

会長エレクト 片野 一雄

幹事 原 千明

第2290回 例会 平成26年7月24日 (晴) No.4

■司会：大藤 勉 ■点鐘：守屋 紀忠 ■合唱：手に手つないで

◇プログラム ・7月31日：斎藤 正淳さん ・8月7日：片野 一雄さん ・8月14日：休会

◇出席報告	例会	会員数	出席数	出席率	メークアップ	修正出席率	◇欠席者(4名)
	2290回	18(16)	12	75.00%	—	—	小林 斎藤(正)、石山 原卓さん
	2288回	18(16)	11	68.75%	—	—	◇メークアップ(0名)

◇ゲスト紹介

・高谷紗帆さん(財団グローバル奨学生)

河本さん：半年アルメニアで国境なき医師団で活躍されました。病気される事もなく元気で帰国おめでとう！！この後の帰国報告卓話を楽しみにしております。(拍手)

・田中敏治さん(会員候補者)

原千明さん：地元田中秀雄商店の二代目社長田中敏治さんです。職業は産業廃棄物収集運搬と金属加工を営まれています。是非早いうちに入会して頂きたいなと思っています。

今日はロータリーを楽しんで行って下さい。

(拍手)

◇誕生祝い：鈴木勝さん(3/4)

◇病気お見舞い：鈴木勝さん



守屋会長：無事生還おめでとうございます。今後のご活躍をお願いします。

鈴木さん：皆さんご丁寧にお祝いとお見舞い頂き有り難うございます。

3月4日に元気に来るつもりが今日になってしまいました。少し歩くと疲れてしまいますが、片野さんからもっと歩けと言われていました。夕方涼しくなりましたら歩きます。今日はダブルで頂きまして有り難うございます。(Happy Birth Day Song)



大藤S A A：私の誕生日は3/8ですので来年は一緒に頂きましょう。



(食事：夏野菜カレー)

出席報告：井上浩吉さん

◇一言：大磯町の歴史

井上浩吉さん

先週、松本順が大磯に海水浴場を開設した時に尽力したという宮代謙吉(旅館むかで屋当主)の話をしました。もう一つ大磯の人は知らないと思いますが、松本順が鉄道建設の話を進めていました。明治18年頃に鉄道建設が横浜-小田原間で始まっていました。大磯の仲間5人が花水川から国府まで請け負って線路の敷設をやりました。その時に大磯の駅を何処にするかと言う事になりました。明治20年に鉄道は開設になりました。伊藤公はまだ大磯には来ていません。しかし伊藤公が住む滄浪閣あたりに駅を造ろう、そうでなければ山王町に造ろうかと言う話が出ていましたが、松本順が海水浴場に一番近いところは何処かと言う事で一番辺鄙な愛宕山と坂田山の狭間に駅を造る事になった。ところがそこは活断層の巣で、大地震があれば駅は完全に壊滅する・・・、が海水浴場に近いと言う事からそこに駅を造ったとの事です。明治20年に駅が出来た事によって大磯に非常に多くの人が集まるようになりました。



(此处で宮澤さん出席、出席率75%に)

◇会長報告

守屋 紀忠会長

本日は財団グローバル奨学生高谷さんようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお願ひします。

又田中敏治さん、ロータリー見学によるこそ。ごゆっくりして行って下さい。



昨日は第8グループ会長幹事会があり、2016年規程審議会立法案提出のお願いがありました。提案件数がグループで5件に満たないので、期限を8月21日まで延長して再度要請がありました。再来週の理事会で検討しますので、提案をよろしくお願ひします。

◇幹事報告

原 千明幹事

高谷さんようこそ、このあと卓話よろしくお願ひします。

田中さんようこそお越し下さいました、是非早く入会頂いて出席お待ちしております。

回覧：

1. 地区高校生奨学金募集について
2. 青少年交換留学生募集の件
3. 麻薬撲滅キャンペーン啓発資材手配について
4. ハイライトよねやま
5. 7クラブ親睦ゴルフコンペの案内。
6. 例会変更：平塚RC、平塚北RC。
7. 週報：茅ヶ崎RC、小諸RC、志木RC。
8. 雑誌ロータリアン回覧。
9. 活動計画書：茅ヶ崎、志木、平塚、平塚 湘南、平塚南、平塚西、平塚北
配布：ガバナー月信配布。

・古田さんからのメール紹介：

私は相変わらず至誠館大学東京校で留学生相手に経営学とマーケティング論を教えています。教授5年目に入り、今春卒業生がミャンマーに帰国後、ヤンゴンの日本企業の不動産会社に就職し初任給2万円のところ5万円の2.5倍と大喜びの報告が参り、教師冥利を密かに味わっています。ご無沙汰しております大磯ロータリアンの皆さんにも宜しくお伝え下さい。

・皆さん出席をよろしくお願ひします！！

◇おめでとうございます



誕生日祝：

宮澤さん

(7/27)

ご無沙汰しております。65歳になりました。毎日けたたましい忙しさです。

早稲田大学院を卒業しましたが、睡眠時間は相変わらず4時間前後です。ミャンマーやブータンのプログラムはどんどん進んでいます。その他に外務省と2020東京オリンピック・パラリンピック委員会の方からアフリカの最貧国をオリンピックに招くために



お前行ってこいと言う事で、9月15日から10日間エリトリアの方に行きます。障害を持っているスポーツ選手をオリンピックに向けてコーチの派遣などの段取りをして来るつもりです。向こうはとても地下資源が豊かで天然ガスが沢山あります。ちょっと変わった国で日本とはまだあまり親しくない国です…。(Happy Birth Day Song)

◇委員会報告

☆スマイルボックス

太田 知加子さん

・守屋 紀忠さん：高谷さん卓話よろしくお祈りします。田中さん大磯マリーナクラブを見学して行って下さい。宮澤さん誕生日おめでとうございます。



・原 千明さん：高谷さんようこそいらっしゃいました。本日はよろしくお祈りいたします。田中さんお越しいただきありがとうございます。楽しんで行って下さい。

・河本 親秀さん：高谷さんお帰り!!アルメニアで半年にわたる国境なき医師団での活躍ご苦労様でした。帰国報告卓話楽しみにしています。田中さんようこそ楽しんで行って下さい。

・百瀬 恵美子さん：高谷さんおかえりなさい。田中さんようこそおいで下さいました。先週 慰労会ありがとうございました。

・新宅 文雄さん：高谷さん卓話よろしく・鈴木さん、宮澤さん誕生日おめでとうございます。・姉妹都市協会主催のデイトンご一行を迎えてのレセプションに花を贈呈いただきありがとうございました。

・宮澤 保夫さん：ご無沙汰しております。誕生日祝いありがとうございます。

・太田 知加子さん：鈴木勝さん、宮澤保夫さん誕生日おめでとうございます。ゲストスピーカーの高谷沙帆様ようこそお待ちしております。田中敏治様お越しを歓迎しております。

☆河本会報担当：今日、会報2288回2289回を配



布しましたが、PCの設定、プリンターの設定が上手くいってないため、写真の色合や記事の配置が良くありません。修正の上次回再配布しますのでご了解お願いします。

◇ 卓 話

◆◆◆帰国報告◆◆◆

財団グローバル奨学生 高谷紗帆さん



2014-15年度グローバル奨学生に選んで頂き、また大変お世話になり有り難うございました。30分の時間を頂きましたので、私がこれまで何をしてきたか、これから何をしたいかについてお話ししたいと思います。

・2008年北海道大学医学部卒業後、港みらいにある警友病院で内科の研修を受け、2012年から熱帯感染症専門病院=東京大学医科学研修所附属病院=日本ではマラリアなど熱帯感染症を治療できる病院は20カ所しかない=で研修をうけました。元々感染症に関心がありましたが、この5年の研修で熱帯感染症を目指す事に決めました。

目標は「治療可能な感染症で亡くなる患者さんを減らす事」です。

・熱帯医学の重要性：中南米から来た方の輸血からシャーガス病という、今まで日本にはなかった病気が発見され、騒ぎになりました。結論的には大したことにはならなかったが、この病気について知識のある人は殆どいない。地球温暖化と共に日本から海外に行く人は年間2千万人、日本に来る人は1千万人の時代、マラリアなど熱帯感染症は当たり前にな

ってくる時代に入っている。こういった知識を持った医者が今後益々必要になると思っている。

・昨年3月タンザニアにおける熱帯医学研修

=ドイツ人医師主宰=ヨーロッパの方がアフリカに近い事もあり、熱帯感染症への関心が高い

・マサイ族の人達の病院=牛を何匹、羊を何匹飼っているかで何人のお嫁さんを貰えるかの世界で、動物に関わる仕事が多い。牛乳を低温殺菌しないで飲むため乳に含まれる細菌に感染したり、病気になると牛や山羊の血を飲むと行った習慣もありその専門治療病院。

・ブッシュマンの部落訪問=生活習慣として病気になると飲む樹液や葉っぱなど、漢方に近いもので我々にも学ぶべきものがあると感じた。

・住血吸症=寄生虫症(川の中にいる貝) =の検査。

日本住血吸症は1970年代までは大きな問題でした。山梨県など北関東ではかなりの方が亡くなっています。日本の住血吸症はお腹に感染しお腹に水が溜まり、肝臓が腫れたりします。感染の原因は宮入貝と言う水田にいる小さな貝で、当時は長靴などを履かないで田植えをしたりする事があって、感染します。当時は地方病と言われていました。貝の駆除に努め、1976年以降発生はありません。この病気の完全駆除の話外国ですと誰も信じませんが、世界でただ一つの事例で凄い事です。これが出来たのは草の根からの啓蒙活動からです。これで日本の衛生水準が劇的に改善されました。日本で凄いのは子供達の寄生虫の便検査です。今では殆ど陽性になる事が無くてもやり続けている事です。そこでちゃんと治療し、教育する事で成功した事例です。

・橋本イニシャティブ=感染症、寄生虫症対策で貧しい国やWHOを支援。発症するのはアフリカや東南アジアの貧しい国であるので新しい薬の開発も進まず、困っているのを救おうという提案で、1997年のサミットで合意され、その後色々な施策が推進されたと言う画期的な橋本首相の提案

・ハンセン氏病：大学時代に清瀬にあるハンセン氏病の療養施設に行きました。今ではハンセン氏病は日本で見ると出来ませんが、アフリカや東南アジアではまだまだ多く発生しています。今世界ではWHOがハンセン氏病の薬は只で何方にも配布するという方針を取っています。識字率の低い国でもちゃんと飲めるように造られています

・アフリカ嗜眠病=伝染源ツェツェ蠅=アフリカにしかいない=病原菌が頭に行って眠ったような状態になるか、逆に異常な興奮状態になる。薬は30年前に開発されたもので、この病気が最貧国に固まってい

るので新しい薬は全く開発されなくて、薬の副作用で亡くなるか病気で亡くなるかと言う現状になっています。東大で薬の開発をしようと言う動きはありますが資金難で難しい状況です。

ツェツェ蠅は青と黒色が嫌いで、且つ牛の尿の臭いが嫌いであるので、臭いをしみこませた布が旗のように至る所に旗のように掛けて少しでも刺されないよう予防しています。

・タイ、ミャンマーでマラリア、デング熱の診療=大阪大学主宰

・アルメニア：旧ソ連邦の国で西がトルコ、南がイラン。北がグルジアで東がアゼルバイジャン。西アジアの国で文化的には旧ソ連の影響を強く受けています。色んなシステムが旧ソ連のままという国です。中所得国。医療システムが旧ソ連邦のままで動きが取れなくて援助が必要という国です。

・国境なき医師団とは=パワーポイント参照

医療の他に世の中で何が起きているかを表現する事を二つの柱に掲げています。今も積極的に報道しています。最近ではシリア、アフリカのエボラ出血熱のこと。ウクライナにミッションを募っています。一般情報として上がってこないものをそこに働く者としてリリースして行く事を大きな目的としています。海外スタッフ、現地スタッフなど3万5千人が働いています。日本からは毎年70~80人が現地で働いています。



・仕事の内容：パワーポイント参照

薬剤耐性結核診療に従事。旧ソ連邦の国々では結核が大きな問題になっています。新しい薬を使う事。1960年代にストレプトマイシンが開発された時、結核治療は劇的に変わりましたがその後結核は貧しい国の病気のため半世紀全く新薬開発がなされなかった。しかし2010年以降沢山の新規結核薬が出て来ました。まだ正式な承認がされていない薬を患者と製薬会社の同意を得て使わせて頂くプロジェクト(コンパッションエート・ユース)に従事しました。

嬉しい事に日本の大塚製薬が新結核薬デラマイトを開発し、今年承認されました。これは恐らく日本

で沢山使う薬ではなくてアフリカ、東南アジアで使う薬になると思います。大量のお金を掛けて、そのような薬を日本の製薬会社が作ってくれ竹生は本当に嬉しい事です。

・日本における結核症の状況について：

日本の結核について若い人は知らないと思いますが、欧米先進国に較べて3~4倍の患者がいます。又若い時に結核になった人が、年を取って免疫力が落ちて再発する方がいて、医療現場で問題になっています。アルメニアではまだまだ流行っているという現状です。



・薬剤耐性結核：パワーポイント参照

医学的な事だけでなく社会的な差別=空気感染のため、周囲の人から排除される。他の検査を受けるため普通の病院に行くと検査を拒否される、婚約破棄される等々=に苦しんでいる人が多いためソーシャル・ワーカーもチームにいる。

・活動内容：アルメニアの医療システムの状況、患者の置かれている状況等について詳しい説明がありました。

留学先と目的、研究方針について：

- ・留学先=London School of Hygiene & Tropical Medicine= ロンドン熱帯医学校
- ・熱帯医学修士号=MSc Tropical Medicine and International Healthの取得：
- ・熱帯医学について、基礎医学、臨床医学、社会医学の広い視野から学ぶ
- ・3ヶ月の短期プロジェクトを組み、卒業論文を書く

留学後：

- ・博士課程進学
- ・国境なき医師団のミッションに参加
- ・他のNGOに参加
- ・国際機関に応募
- ・病院勤務

これから1年間色々な出会いがあると思うのでその中で将来の進む道を決めたいと思います。

大藤SAA：高谷さんからアルメニアのチョコレートを頂きました。皆さんに配りました。有り難うございました。

質問：どういう待遇・給料ですか？

答： 現地で最低限の家賃と、税金が払える程度の給料が出ます。私としては格段に給料は下がります。私の場合は住まいも準備して貰い、生活費として1日1千円くらい貰いましたので、貯金は貯まりませんが何とか生活は出来ました。先進国の人達の給料は下がりますが、同じチームにいたスリランカとインドの医師は内地で稼ぐ収入よりは高いです。

質問：アフリカでは病気を直すのに呪術で直すというような事は今でも行われていますか？

答： 勿論お祈りして直そうというのがありますが、その時ハーブなどを使ったりします。そこから派生して今薬にしているものもあります。最新のマラリアの薬は中国で昔から使われていた薬草です。何処まで科学的に正しいかは微妙なんですけれど…。全く怪しげなお祈りもあれば、ある程度科学的に合っているものもあります。

以上



(高谷さんに会長より花束贈呈)